

奄美群島の概況

令和元年度



鹿児島県大島支庁

奄美を世界自然遺産へ！

◇表紙写真◇

「与論島の観光動画が世界的に高評価」

「第1回日本国際観光映像祭」が行われ、日本部門で与論島の観光映像「Yoron Island Japan in 8K HDR（ヨロン8K）」がグランプリを受賞しました。受賞後、ポルトガルで開催される国際観光映像祭「ART&TUR」にエントリーが決まり、そこでもフィルムロケーション部門で見事2位に輝きました。また、（一財）地域活性化センターによる「第1回地域プロモーション大賞」の動画部門で地域活性化センター賞を受賞しました。

（左下）

「宮古崎トンネル 貫通式」

令和元年11月1日に、鹿児島県が2017年度から掘削工事を進めてきた県道名瀬瀬戸内線の奄美市根瀬部一大和村国直間を結ぶ「宮古崎トンネル」（延長2316m）の貫通式がありました。

供用開始は2021年度以降を見込んでおり、災害時の輸送路確保や救急搬送の時間短縮、日常生活の利便性向上などの効果が期待されています。

（右下）

「内閣府が『SDGs未来都市』に徳之島町を選定」

内閣府は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成を目指し、徳之島町など全国31自治体を「SDGs未来都市」に追加選定し、鹿児島県内の自治体では徳之島町と大崎町が初めて選定されました。

今後、各省庁の支援施策を活用し、SDGsを原動力とした地方創生を推進することが期待されています。

は し が き

ここに令和元年度版「奄美群島の概況」を刊行します。

本書は、奄美群島振興開発事業の成果のほか、奄美群島の自然、行政、産業経済、教育及び文化などの各般にわたる統計資料等を総括的に集録し、現況と推移を明らかにしたものであります。行政運営、経済施策の樹立、学術研究及び諸計画立案の基礎資料として御活用いただければ幸いです。

本書の刊行に当たり、貴重な資料を提供いただきました関係機関並びに関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

令和2年3月

鹿児島県大島支庁長

松本 俊一